

2022 年度 小委員会活動成果報告

(2023 年 1 月 6 日作成)

| | | | |
|------------------------------|---|---|-------------------------------|
| 小委員会名 | 保有水平耐力計算規準改定検討小委員会 | | 主 査 名：真田靖士 就任年月：2021 年 4 月 |
| 所属本委員会 (所属運営委員会) | 構造委員会 (鉄筋コンクリート構造運営委員会) | | 委員長名：五十田 博 (主 査 名：楠 浩一) |
| 設 置 期 間 | 2021 年 4 月 ～ 2025 年 3 月 | | |
| 設 置 目 的 各年度活動計画 (箇条書き) | <p>「鉄筋コンクリート構造保有水平耐力計算規準・同解説」(以下、保有水平耐力計算規準)の次期改定に向けた検討を行う。</p> <p>初年度：「保有水平耐力計算規準」と関連する本会規準、指針の改定に関わる小委員会と連携し、規準、指針間の現状の不整合などを抽出し、今後の整合の必要性を検討する。併せて、本規準から解析のモデル化部分などの分離の可能性を検討する。また、2020 年の本規準の発刊に伴う読者意見の収集を進める。2018 年の改定で積み残した課題や Q&A での要望などを精査し、改定方針を決め、改定案の原稿を作成する。他の指針規準との整合も確認する。</p> <p>2 年度：初年度の検討結果、並びに、2021 年の「保有水平耐力計算規準」の発刊に伴う読者意見、また前身である「同規準・同解説(案)」からの継続審議事項を総合して、本規準の次期改定の骨子について検討する。</p> <p>3 年度：次期改定の具体的内容について分析、検討する。</p> <p>4 年度：次期改定の原案を作成し広く意見を収集し、改定作業に繋ぐ基礎資料を整備する。</p> | | |
| 委員構成 (委員名(所属)) | <p>委員公募の有無：無</p> <p>主査：真田靖士(大阪大学) 幹事：坂下雅信(建築研究所)、池田周英(竹中工務店) 委員：和泉信之(千葉大学)、楠浩一(東京大学)、杉本訓祥(横浜国立大学)、田尻清太郎(東京大学)、中村孝也(新潟大学)、谷昌典(京都大学)、壁谷澤寿一(東京都立大学)、柏尚稔(大阪大学)、秋田知芳(山口大学)、寺田隆一(日建設計)、太田行孝(戸田建設)</p> | | |
| 設置 WG (WG 名：目的) | なし | | |
| 2022 年度予算 | 560,000 円 | <p>ホームページ公開の有無：有(保有水平耐力計算規準 Q&A サイト)</p> <p>委員会 HP アドレス：http://news-sv.aij.or.jp/kouzou/s47/</p> | |

| 項 目 | 自己評価 |
|--|--|
| 委員会開催数 | 4 回 |
| 刊行物 (シンポジウム資料等は除く) | |
| 講習会 | |
| 催し物 <small>*能力開発支援事業委員会承認企画</small> | |
| 大会研究集会 | |
| 対外的意見表明・パブリックコメント等 | |
| 目標の達成度 (当初の活動計画と得られた成果との関係) | <ol style="list-style-type: none"> 2021 年の保有水平耐力計算規準の発刊に伴う正誤、Q&A 対応を行い、回答を作成して公開した。 「保有水平耐力計算規準」の次期改定に関する骨子について検討している。 関連する本会規準、指針の改定に関わる小委員会と連携し、規準、指針間の現状の不整合などを抽出している。 |
| 委員会活動の問題点・課題 | <ol style="list-style-type: none"> 本規準の次期改定の骨子をまとめる過程で、引き続き、新たな課題が見つかる可能性がある。 今後も現行規準への読者意見が寄せられる可能性がある。 |